

ASME 2013 International Design Engineering Technical Conference & Computers and Information in Engineering Conference (IDETC / CIE) 参加報告

開催日時：2013年8月4日（日）～7日（水）

会場：Oregon Convention Center（米国・ポートランド）

主催：American Society of Mechanical Engineers

2013年8月4日から7日の日程で、米国オレゴン州ポートランドのオレゴンコンベンションセンターにて、ASME2013 IDETC/CIE が開催された。この会議は、米国機械学会の Design Engineering 部門、および Computers & Information in Engineering 部門に関連する複数のサブ会議から構成され、今回は、39th Design Automation Conference (DAC), 25th International Conference on Design Theory and Methodology (DTM)などを含む13の会議が開催された。配布資料によると、全体で1150件の投稿があり、そのうち956件が採択されたとのことである。

一般セッションに先立ち、初日の4日には18件のワークショップが開催された。ワークショップは、特定のテーマについて、オーガナイザーが話題提供をしながら、参加者を交えて4時間程度をかけてじっくり議論を行うという形式のものである。筆者が参加した Design Research Methods: Interviewing のワークショップでは、企業における設計活動を分析する手段としてのインタビューの実施方法やその効果、問題点について密度の濃い議論が交わされた。

5日から7日の3日間に、各会議の一般セッションと、13件のキーノートレクチャー、10件のパネルセッションが開催された。いずれのセッションも盛り上がっていたが、中でも、DTMの25周年を記念して行われたパネルセッションでは、会場の会議室内に入りきれないほどの参加者があり、大変な盛況であった。設計手法や方法論の研究の過去25年間の歴史を振り返りながら、将来の展望について活発に意見交換が行われた。この他、学生対象のイベントとして、CIE Student Poster Session, Student Networking Luncheon, DED Student Mechanisms and Robotics Design Competition が開催された。

筆者は、Design for Manufacturing and the Life Cycle Conference (DFMLC)における Integrated Product and Process Development Processes のセッションにおいて、設計プロジェクトマネジメントのためのリスク評価手法についての論文発表を行った。DFMLCは、製品・システムの生産や、ライフサイクルマネジメントのための設計の方法論やツールの開発などを主な対象テーマとしており、今年度で18回目の開催となる。今回は12の一般セッションが設けられ、52件の発表が行われた。サステナブル設計・生産、製品ライフサ

イクル、マスカスタマイゼーション、サービス設計など、製品設計開発プロセスに関する幅広いトピックについての発表があり、いずれも大変興味深いものであった。

なお、次年度は、2014年8月16日から20日までの日程で、米国ニューヨーク州バッファローで開催される予定である。



(報告者：大阪大学 野間口大)